

昇段審査の実施結果及び寸評（新津会場）

2月27日に開催が予定されていた審査会がコロナ感染症まん延防止処置等により1か月の延期を経て3月27日（日）、新津武道館において開催されました。「審査実施にあたっての新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に沿い、主管新津剣道連盟係員と受審者の協力のもとで初段から三段までの審査を実施しました。

実技について

「切り返し」は、正面打ちと連続左右面打ちを組み合わせた基本動作です。「構え(姿勢)」「打ち(刃筋や手の内の作用)」「足捌き」「間合の取り方」「呼吸法」さらに強靱な体力を養い「気剣体一致」の打突の習得をもとめています。方法は中段の構えから大きく振りかぶって正面を打ち、中段に復することなく頭上で直ちに手を返し、「送り足」で前進・後退の足捌きを伴いながら、交互に連続して刃筋正しく相手の左面・右面を打ち、打ち終わった段階で中段に復し正しく間合を取り、直ちに振りかぶって正面を打つ。これを2回を行い最後に正面打って残心をとります。切り返しの最初と最後の正面打ちは「一足一刀の間合」から一拍子で打てるようにしましょう。「切り返し」は最も基本となる相対的動作です。習得するには次の点についても留意してください。動作を大きく、ゆっくり正確に鍛錬して行きましょう。肩の余分な力を抜いて柔軟に左右均等の打ちになるように。動作は送り足で、後退は歩み足にならないようにします。息継ぎは、正面を打ち相手に接近したところで息を吸い、左右面を打ち終わって間合を取り、正面を打った時点で息を継ぎ残心を示しながら相手の攻撃に即応できるようにします。ここで気をつけなければならないのが頭、腰、膝などで調子をとって体の上下運動を大きくしないようにしましょう。稽古を重ね、旺盛な気迫を示し息の続く限り一息で体勢を崩すことなく行えるようにしましょう。このことは昨年当審査会の寸評でも申しましたが、上達の要でありますので重ねて記述しました。正しい基本動作をさらに修習、習得、修練し上達しましょう。

日本剣道形について

概ね良好でした。・立会の所作・構え（身構え、気構え、心構え）・打突の部位（どこを打つのか、突くのか）・物打ち・間合・一拍子・無駄の無い足捌き等も正しく身につけましょう。日頃の稽古に「日本剣道形」、「木刀による剣道基本技稽古法」をとり入れて下さい。

学科については、剣道を正しく深く理解してもらうための学科であります。日頃から勉強しておきましょう。

審査の重要な「切り返し」については全剣連「剣道講習会資料」から抜粋しております。

最後になりましたが審査会にあたりまして、主管連盟の柳新津剣道連盟会長はじめ会員の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

審査委員長 遠山正宣